



病児保育室

# ポッぽだより

2017.10 秋号

涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちのよい季節ですね。  
 しかし、秋は昼と夜の気温差が大きく、体調も崩しやすくなります。夏風邪がひと段落するものの、溶連菌やRS、インフルエンザなどの注意や対策が必要になってくる時期でもあります。  
 インフルエンザウイルスは、冬の乾燥した空気が大好きです。湿った空気は大嫌い。  
 ですので、加湿を行い部屋の湿度を上げる事が「インフルエンザの生存率を減らす」のに効果的です。  
 部屋の湿度は50%~60%を保つと良いとされています。  
 「しっかり予防」で元気な毎日をおくりたいですね。



夏に、全国病児保育研究大会の研修に行ってきました。子供の風邪についてや、風邪薬の知識、予防接種の必要性、病児保育室での遊びや過ごし方などを勉強してきました。

病気にかかっている子どもの、体と心に寄り添い、入室した一日を不安なく「病児保育室ポッぽ」で過ごし、元気に回復してくれるよう保育看護していきたいです。



## こんな事して遊んでいるよ😊



保育室で人気の磁石の玩具です。長〜いトンネルを作って、プラレールと組み合わせて遊んでいました。子供の想像力ってステキですね♡「先生、見て〜」とニコニコ顔で教えてくれました。

折り紙相撲をして遊びました！子どもが描いたお相撲さんの顔♡可愛いです♡何度も勝負し、盛り上がりました😊



## 最近の保育室では・・・

9月から、熱、咳、鼻、下痢などの感冒症状での利用が多く、満室になる日も増えてきています。9月は49名の利用がありました。（感冒 38名 アデノウイルス 4名 胃腸炎 2名 結膜炎 1名 手足口病 1名 RS 3名）キャンセル待ちで利用できなかった皆さま 申し訳ありませんでした。  
 できるだけ、多くの方が利用できますように頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

